

東京学芸大学児童文学研究部

「あかべこ」OB・OG 部室で語る

熱き日々

座談会Ⅱ

日時 二〇一一年三月三日(木)午後二時～五時
会場 東京学芸大学児童文学研究部「あかべこ」部室



「あかべこ」は、一九五二(昭27)年、東京学芸大学児童文学研究部の機関誌として創刊された。作家皿海達哉、日比茂樹らを輩出。彼らは六七(昭42)年に卒業すると「書き続ける」ために同人誌「牛」を創る。その「牛の会」は、短編アンソロジー『プールのジョン』(07年 田畑書店)や、「読書リレー」全三冊(10年 星の環会)を出版するなど、近年益々旺盛な活動を続けている。

出席は五九(昭34)年入部の詩人高木あきこさん、六三(昭38)年入部の作家皿海達哉さん、六七(昭42)年入部の詩人で本誌編集委員の間中ケイ子さん、七八(昭53)年入部の中学国語教師宮井千佳さん、そして、この春「あかべこ」研究で卒論を書いた佐藤真郁さん、現部長の四年生小林惣一郎さんの六人。新入生歓迎の練習に余念のないアカベラ部の歌声をドアの向こうに聞きながら、部室で行った座談会。以下、当日の司会を務めた西山がまとめました。(西山記)

■現役学生、現状と入部の動機を語る

小林 この春四年になりました。現部長の小林惣一郎です。N類総合社会システム専攻で社会科学の勉強をしています。部員は、実質僕たち二人です。

佐藤 〇七年に入学した佐藤真郁です。専攻はN類生涯学